

 **みてね 基金**

「すべての子どもやその家族が
幸せに暮らせる世界」を目指して

- **イノベーション助成**
- **ステップアップ助成**

第二期



「みてね基金」第二期 ステップアップ助成 募集要項

公募締切：2021年1月18日（月）15:00

事務局：株式会社ミクシィ
運営協力：NPO法人ETIC.

1. 「みてね基金」第二期の公募について

第一期の公募では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受けて困りごとを抱える子育て家庭に対して緊急度の高い支援活動を行う団体を対象といたしました。

第二期の公募では、「すべての子どもやその家族が幸せに暮らせる世界」という目標の実現を目指して、中長期的な視点から二つの助成プログラムを実施します。

一つは、子どもや家族にとってよりよい社会や仕組みづくりに向けて、他の団体や地域にも波及しうる革新的なアイデアと実行力を持っている団体に、その取り組みを進めるためのまとまった投資的資金を提供する「イノベーション助成」です。

もう一つは、子どもや家族のニーズに寄り添いながら地道に活動を続けている全国各地の団体が、事業や組織の基盤を強化し、その活動をこれまでとは違うステージにレベルアップしていくことを支援する「ステップアップ助成」です。

また、それぞれの部門で、各団体のニーズを踏まえた上で、伴走支援などの非資金的な支援も提供します。

本資料は「ステップアップ助成」に関する募集要項になります。

	イノベーション助成	ステップアップ助成
対象となる団体	「難病・障がい」「教育」「貧困」「出産・子育て」「虐待」の5つの領域で課題解決に取り組む非営利組織	
	原則として、年間の財政規模 3,000万円以上、活動実績3年以上の団体	原則として、活動実績2年以上の団体で、この助成金を活用して、事業や団体のステージを一段レベルアップさせていく意欲と計画がある団体
対象となる活動	より良い社会や仕組みづくりに向けて、中長期的に大きな社会的インパクトが期待できる革新的な事業・活動	草の根で活動を続けてきた団体が事業基盤・組織基盤を固め、事業や団体のステージを一段アップさせていくための取り組み
1団体あたりの助成金額	最大1億円	最大1,000万円
助成総額	3～4億円（予定）	1億円（予定）
伴走支援等の非資金的支援	あり	あり
採択予定件数	5～8件	10～15件
助成期間	最長3年間 （2021年3月から2021年10月の間で最適な助成開始月を設定）	原則として 2021年4月から最長2年間
活動地域	主に日本国内での活動を想定していますが、海外での活動も採択の可能性があります。	主に日本国内での活動を想定していますが、海外での活動も採択の可能性があります。また、選考にあたっては、地域やテーマが偏らないようにも考慮いたします。
公募開始	2020年11月20日（金）	2020年12月15日（火）
公募締切	2021年1月7日（木）12時	2021年1月18日（月）15時
最終選考結果通知	2021年2月下旬（予定）	

※詳細なスケジュールは、「9. 選考方法とスケジュール」をご覧ください。

〈みてね基金の5つの活動テーマ〉



1. **難病・障がい** 難病・障がいを抱える子どもやその家族への支援
2. **教育** 教育格差による不利益を受ける子どもへの支援
3. **貧困** 経済的な困窮など、家庭環境により不利益を受ける子どもへの支援
4. **出産・子育て** 妊活、妊娠から出産、子育てに伴う不安や負担への支援
5. **虐待** 虐待の予防および被害者への支援

※対象となる子どもの年齢は主に妊娠・出産前から10代までを想定しています。

2. 「ステップアップ助成」について

「ステップアップ助成」では、子どもやその家族が抱える困難に真摯に向き合い、活動を続けてきた団体が、より大きな成果の実現に向けて、組織基盤や事業基盤を一段レベルアップする取り組みに対して助成します。

助成の対象となる経費は、組織基盤や事業基盤の強化に必要な経費全般になります。外部の専門家への委託費のほか、従事する職員の人件費も含む事務局経費も対象となります。

※ただし、通常の事業運営の経費を補填することを目的とした助成金ではありません。ご留意ください。

また、本助成では、よりよい成果を実現していただくため、各団体のニーズに合わせた伴走支援を提供します。近い分野での経験・知見を有するNPO等の経営者のアドバイスや、運営協力のNPO法人ETICのスタッフによるコーチングやネットワーキングを提供します。

ステップアップ助成で対象となる組織基盤強化・事業基盤強化の取り組みの例

(あくまで一例です)

■支援活動の質向上

- 専門家を招いての人材研修
- プログラムの評価と改善および現場への実装
- 教材・プログラム開発
- 大学や企業等との共同研究・調査

■事業基盤の強化・業務改善

- 専門家の支援を受けての業務フローの整備
- 他団体とのノウハウ共有
- 現場の生産性向上活動と必要な機材の導入

■組織基盤の強化・業務改善

- 事業の拡大に伴うマネジメント体制の強化
- スタッフ間の情報共有ツールの整備

■資金調達のための仕組みづくり

※複数の取り組みを期間内に組み合わせて実施する形でも結構です。

※上記の活動に付随する経費（例：改善したプログラムを現場に実装するための人件費や諸経費）は認められます。ただし、通常の事業運営の経費を補填することを目的とした助成金ではありません。ご留意ください。

<対象にならない取り組みの例>

- 従来から取り組んできた事業について、同じ内容で継続する事業
- 機材の導入や物資の購入が主目的で、現場の改善活動を伴わない事業

※事業基盤強化の取り組みの一環として機材や物資を購入する場合は対象となります。

3. 助成対象となる団体

- 「みてね基金」が定める5つのテーマで活動を行っている団体で、この助成金を活用して、事業や団体のステージを一段レベルアップさせていく意欲と計画がある団体

※複数領域に関わる取り組みを行う団体も対象となります。

- 法人格を持つ民間非営利団体（特定非営利活動法人（NPO）、財団法人、社団法人、社会福祉法人など）もしくは今後、法人化の予定がある非営利の任意団体

※営利団体への助成は行いません。ご了承ください。

- 有給の常勤スタッフが1名以上の団体

※活動実績2年以上、年間の予算規模1,000万円以上の団体を想定していますが、必須要件ではありません。

- 日本国内に事務所がある団体
- 助成金や伴走支援を有効活用しながら、より大きな成果の実現に組織基盤や事業基盤の強化に真摯に取り組む準備ができている団体
- 「助成先団体に求められる義務・条件」に同意いただける団体

4. 助成金額

- 1団体あたりの助成金額：最大1,000万円（申請金額の下限：500万円）
- 助成期間：最長2年間（2021年4月から2023年3月）
- 助成総額：1億円（予定）
- 採択団体数：10～15団体（予定）

<ご留意頂きたいこと>

- 最終的な助成金額および用途については、申請時に提出された書類や情報も踏まえながら、協議の上での決定とさせていただきます。
- 協議の結果、まずは1年目の資金のみ助成し、2年目以降は進捗に応じて金額を検討させて頂くなど、段階的な資金提供とさせて頂く場合もございます。
- 必要に応じて借入や自己資金も併用するなど、最適な資金計画を設計してください。助成金に依存しないよう、助成期間終了後の持続的な財務計画についても十分にご検討ください。
- 助成期間は、2021年4月から最長2年間になります。最適な期間をご提案ください。
- 助成金は、「家族アルバムみてね」の事業責任者である笠原 健治から提供されます。

5. 助成対象となる費用

- 組織基盤や事業基盤の強化に関連する経費全般
 - 外部の専門家への委託経費
 - 組織基盤や事業基盤の強化に従事する職員の人件費ほか事務局経費
 - ITツールや機材への投資
 - その他、必要な経費

※日常の運営経費への助成を目的とした助成金ではありません。ご注意ください。
※事業計画に照らして適切な範囲であれば、人件費や管理費も認められます。ただし、資金使途について可能な限りの工夫をしているかどうかは、審査の対象となります。
※自治体の補助金や他の公共法人等の助成金を活用する事業でも応募できます。但し、同一の費用を重複して計上することはできません。

6. 助成金の支払い

- 申請時に提出された書類や情報を審査し、助成契約を締結した上で、助成金は年ごとに前払いで支払います。
- 下記に該当する場合は助成を打ち切り、助成金を返還して頂くこともございます。
 - 事業が変更または中止等の理由で申請時の計画に則って実施されない時
 - 助成金を必要としない事由が生じた時
 - 申請書の記載や助成金の使用用途に虚偽があることが判明した時
 - 団体および代表者に、反社会的行為や事実が判明した時
 - その他助成対象者として適当でない事由が発生した時

7. 伴走支援について

組織基盤および事業基盤の強化を良い形で実現して頂くことを支援する目的で、助成金に加えて伴走支援やネットワーキング、情報発信支援などの非資金的な支援も提供します。近い分野での経験・知見を有するNPO等の経営者のアドバイスや、運営協力のNPO法人ETICのスタッフによるコーチングやネットワーキングなどを予定しています。詳細につきましては、助成先団体ごとのニーズに応じて、個別に決定します。

8. 助成先団体に求められる義務・条件

- 助成金の適正な使用
- 伴走支援の活用（内容は事務局と協議の上、調整）
- 団体の適切なガバナンス・コンプライアンス体制の整備
- 年次報告書やウェブサイト等で、「みてね基金」が助成した旨の表示
- 取材への協力
- 活動進捗の報告（3か月に1回を予定）や訪問ヒアリング等への対応
- 成果報告書の提出

9. 選考方法とスケジュール

外部の有識者の助言を得ながら、株式会社ミクシィ社内の選考委員会による審査を行います。選考は書類選考と面接選考の二段階で行います。

また、公募締切前に個別相談（1団体あたり30分・オンライン）を実施します。面談の参加有無は採否には影響しませんが、申請書類作成にあたって個別に疑問点を解消頂き、よいご提案を頂くためにも積極的にご活用ください。日程に限りがありますので、各フォームよりお早めにお申し込みください。

<スケジュール>

- 公募開始：2020年12月15日（火）
 - [「みてね基金」第二期 ステップアップ助成 申請フォーム](#)
- 個別相談：2020年11月27日（金）～2021年1月13日（金）12時
 - [「みてね基金」第二期 ステップアップ助成 個別相談申込フォーム](#)
- 公募締切：2021年1月18日（月）15時
- 一次選考結果通知：2021年1月下旬
- 最終選考面接：2021年2月中旬
- 最終選考結果通知：2021年2月下旬
- 助成契約・助成金支払：2021年3月以降順次

※個別相談のお申し込みは、2021年1月7日（木）12時までご連絡ください。

※面接審査は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を踏まえ、原則オンラインで実施します。

※採択の可否に関わらず、審査結果は申請者全員にお知らせします。

※選考の経緯・決定理由は、採択の可否に関わらずお問い合わせには応じかねますので、あらかじめ了承ください。

10. 選考基準

以下の基準に基づき選考を行います。応募書類の作成にあたっては、対応する説明が含まれるようにしてください。また、選考にあたっては、地域やテーマが偏らないようにも考慮いたします。

1. 団体の活動実績	対象とする子どもやその家族等が抱える課題やニーズを踏まえた適切なビジョン（団体が考える望ましい社会）やミッション（団体のめざす社会的な役割）を掲げ、その実現に向けて活動を継続・発展させてきた実績があるか。
2. 課題の適切な理解	対象とする子どもやその家族等が抱える重要な課題やニーズを、調査やこれまでの活動の分析を通して、可能な限り定量的・構造的に捉えられているか。
3. 事業・活動内容の妥当性	計画している今後の事業・活動の内容が、設定した課題の解決につながる適切な内容になっているか。
4. リーダーシップと実行力	工夫や改善を重ねながらも成果の実現を目指す経営チームのリーダーシップと、それを実現することができる高い組織能力や外部ネットワークがあるか。
5. 連携・協働	他のプレイヤー（行政・企業・他のNPO・教育機関・市民等）と必要に応じて連携・協働していく計画があるか。
6. 実行計画の具体性・妥当性	事業・活動の実行計画やスケジュールが妥当か。適切な担当者を配置し、必要な工数を確保することができるか。また、適切な目標設定と評価により、助成期間中も継続的に改善を進めていく計画があるか。
7. 予算の妥当性と効率性	助成金の使途が、より良い成果の実現につながるために工夫・考慮されているか。また、助成金終了以降に事業や活動を継続・発展していくための財源の確保について、一定の仮説や見通しがあるか。
8. ステップアップに向けた適切な準備	本助成金を活用することで事業や組織を進化させていくことが、事業面や組織面でタイミングとして適切と言えるか。

11. 応募・選考にあたっての提出書類

【一次選考（書類審査）】

以下の3点の書類を用意して頂きます。下記申請フォームから団体の基礎情報や連絡先をご入力頂いた後、指定の方法でご提供ください。

- [「みてね基金」第二期 ステップアップ助成 申請フォーム](#)
- [「みてね基金」第二期 ステップアップ助成 申請フォーム項目（Excelファイル）](#)

1. 応募用紙の提出

団体の概要や実績、組織基盤強化・事業基盤強化の計画、実行体制、予算等について、所定の書式に記入して提出してください。

- [「みてね基金」第二期 ステップアップ助成 応募用紙（Wordファイル）](#)

※全体で6ページ以内に収まるように作成してください。
※審査基準を踏まえた内容を盛り込むようにしてください。
※適宜図表や写真も挿入して頂いて結構です。

2. 団体の前事業年度の財務報告書

PDFで提出してください。

3. 団体の今事業年度の収支予算書

PDFで提出してください。

なお、ご提出いただく書類の名前は、それぞれ「団体名_書類名」としてください。

例) NPO法人エティック_応募用紙.pdf
NPO法人エティック_財務報告書.pdf
NPO法人エティック_収支報告書.pdf

※既定の書類以外は、お送りいただいても審査の対象外となります。
※申請内容に不備があったり、必要な情報を期日までご提供いただけなかった場合は申請を無効と致します。
※ご送付いただいた資料は返却できません。あらかじめご了承ください。

【最終選考（書類・面接審査）】

一次選考で提出頂いた内容に対して、事前に質問を送付させていただきますので、それを踏まえて応募用紙を再編集して頂き、事前に提出頂きます。その内容について、プレゼンテーションと質疑応答を行います。

※詳細は一次選考通過時にご案内します。

12. 本助成についての問い合わせ先

みてね基金事務局

mitene_fund@etic.or.jp

（運営協力：特定非営利活動法人エティック）

13. 個人情報の取り扱いについて

申請フォームに記載頂きました（当社にご提供頂きました）個人情報（団体名、代表者姓名、本店所在地、連絡先担当者姓名、連絡先メールアドレス、連絡先電話番号）につきましては、みてね基金（以下「当基金」といいます。）の各業務を運営するため、次の利用目的と範囲で、当基金を共同で運営する、笠原健治、株式会社ミクシィおよび特定非営利活動法人エティック（以下「共同利用者」といいます。）が、個人情報の保護に関する法律に定める共同利用を行います。共同利用者は共同利用する各個人情報を善良なる管理者の注意義務をもって適切に管理致します。

【共同利用の目的及び範囲】

1. 応募に対する審査および審査結果の通知
2. 助成決定後の諸手続きの連絡
3. 助成者決定の公表
4. 当基金における助成事業の管理業務
5. 当基金からのご案内

【共同利用する個人情報の項目】

当基金に応募に関する次の個人情報

- 団体名
- 代表者姓名
- 本店所在地
- 連絡先担当者姓名
- 連絡先メールアドレス
- 連絡先電話番号

【共同利用する個人情報の管理に責任を有する者】

笠原 健治 及び 株式会社ミクシィ

版数	発行日	改訂内容
第1版	2020年12月15日	初版発行
第2版	2020年12月24日	個別相談の開催日程を変更 個別相談の申込期限日を追記